

開催報告

アプラス2004

The Third Asian-Pacific Landfill Symposium in Kitakyusyu 2004

ユニチカ(株) 小田 稔

平成16年10月27日(水)～29日(土)の3日間、北九州国際会議場において、アジア・太平洋埋立国際会議 (APLAS) 北九州2004が北九州市主催で開催されました。これは、アジア地域全体の廃棄物問題の解決や環境向上を目的とし、学識経験者による基調講演を中心とした国際会議でした。

三回目の今回は、約20カ国から120を越える研究発表とイタリア・中国・韓国からのゲスト、学識経験者による講演が同時通訳によって行われました。アジアの玄関口福岡を象徴し、参加者は国際色豊かな顔ぶれでした。

この他、国内外30の企業や研究会、大学などが展示ブースを設け、最新技術を紹介しました。各講演の合間の休憩時間に参加者へのドリンクサービスもあり、リラックスしながら、その展示ブースを見学できるようになっていました。特に別会場で行われたポスターセッション(出展者によるポスターによるPR)では、参加者と出展者同士による意見交換や質疑応答が熱く展開されるなど、改めて廃棄物問題の関心の高さを実感しました。

最終日はフェアウェルパーティが盛大に行われ、参加者同士懇親が図られ、翌日は、希望者のみ響灘処分場・北九州エコタウンの実証研究エリアの施設見学を実施しました。



写真-1 講演風景



写真-2 展示ブース